

## transport logistic 2023 ファイナルレポート

国際ロジスティクス・モビリティ・IT・サプライチェーンマネジメント専門見本市  
2023年5月9日～12日 / メッセ・ミュンヘン

2023年5月12日

来場者数が過去最高を記録

### transport logistic 2023 は大成功を収める

#### Summary

- 120 数カ国から 75,000 人を上回る来場者
- 67 カ国から出展者 2,320 社
- 共通テーマはサステナビリティ



#### Facts & Data

会 期	2023年5月9日(火)～12日(金) 9時～18時(最終日 17時)
会 場	メッセ・ミュンヘン
主 催	メッセ・ミュンヘン(Messe Muenchen GmbH)
規 模	127,000 m <sup>2</sup> (2019年:125,000 m <sup>2</sup> )
出 展 社 数	67カ国から 2,320社(2019年度:63カ国から 2,374社)
来 場 者 数	120カ国から 75,000人(2019年度:125カ国から 63,893人)
主 な 出 展 品	各種ロジスティクスシステム(通信・データ処理、eビジネス、輸送・統合交通管理、港湾・航行、航空貨物、パイプライン輸送・送電)、輸送包装、保管・運搬・配送・積卸設備・施設、道路・鉄道・海上・複合輸送、コールドチェーンマネジメント、廃棄物処理ロジスティクス、河川・海・空港、航空会社、速達・小包・宅配サービス、倉庫・荷役・積み替え、AdBlue 技術、通関、研究開発、業界団体・媒体など
併 催 プログラム	Air Cargo Europe Conference、Marilog など
出展日本企業 (現法出展など含む)	NRS(株)、日本航空(株)、日本通運(株)、富士通(株)、三井物産(株)、郵船ロジスティクス(株) 他
専 用 U R L	<a href="http://www.transportlogistic.de">www.transportlogistic.de</a> (英語、ドイツ語) <a href="http://www.aircargoeurope.com">www.aircargoeurope.com</a> (英語、ドイツ語)

ロジスティクス、モビリティ、IT、サプライチェーンマネジメントの国際産業見本市が、2023年5月9日から12日まで、ミュンヘン見本市会場で開催され、展示ホールは世界各国から出展者と来場者で連日満員となった。67カ国からの出展者2,320社（2019年：63カ国 2,374社）と120数カ国から75,000人を上回る来場者（2019年：125カ国から63,893人）が集まった。とりわけ、海外からの来場者割合が50%以上に上昇して過去最高となるなど、輸送・物流業界は依然としてダイナミックな成長を続けている。



メッセミュンヘンの共同CEOシュテファン・ルンメルとラインハルト・ファイファーは、transport logisticについて、「この厳しい時代に、この業界は素晴らしいインスピレーションを与えてくれる。人々は、物事を動かし、前進させ、現在の問題に力を合わせて取り組もうとしている。この4日間、私たちがアイデアや技術の観点からここで見たり体験したりしたことは、本当にユニークなものであった。要するに、ロジスティクスなしでは何も始まらないということだ」と、明確に説明している。連邦運輸・デジタルインフラ大臣のVolker Wissing氏も、Transport Logistic 2023のオープニングに感銘を受けて、「輸送・物流業界が、革新や進歩や最新技術はすぐそこにあるということを改めて示している。それをここで見ることができる。そして、この見本市で特に明らかになったことは、気候変動目標が単に聞こえの良い言葉ではなく、業界がその目標に向かって非常に真剣に取り組んでいるということだ。会場のどこを見ても、どのブースを見ても、そのことが良く分かる」と述べた。

### サステナビリティが重要な共通テーマ

Kühne+Nagel社のマネージングディレクターTobias Jerschke氏は、この大臣の評価に完全に同意して、「今年はサステナビリティが見本市全体を貫く共通のテーマであることが大変印象的であ



あった。これは業界全体に対する強いシグナルであり、私たちがこの重要な問題に対して的確に焦点を絞ることに役立つと思う」と述べた。一方、Andreas Schmid GroupのCEOであるAlessandro Cacciola氏は、「メッセ・ミュンヘンは業界の最新のトレンドと発展を完璧にマッピングすることに何度も成功している。今年は特にサステナビリティが強力で建設的な

テーマであると認識しており、Transport Logistic は、ロジスティクスの未来が積極的に共同形成される場となっている」と述べた。

### 海外からの出展者数が過去最高を記録

総展示面積 127,000 m<sup>2</sup> (2019 年 : 125,000 m<sup>2</sup>)、10 のホールと屋外エリアのトラックシステムは予約で完全に埋まった。出展社 2,320 社の内、1,390 社が海外の企業であり、過去最高の 60% のシェアを占めた。ドイツに次いで出展が多かった国のトップ 10 は、オランダ、イタリア、ベルギー、フランス、オーストリア、中国、トルコ、スペイン、ポーランド、イギリスの順である。



### transport logistic が見事に復活

Lufthansa Cargo 社の副社長 Achim Martinka は、「私たちは transport logistic の再開を長い間待ち望んでいた。今年、4 年ぶりにバイエルンの首都ミュンヘンで参加することができ、忙しくも活気に満ちた日々を過ごした。実に多くの出会いがあり、素晴らしい感動を得ることができた」と述べている。そして、DACHSER 社 CEO の Burkhard Eling 氏は、「transport logistic 2023 は、ミーティングの場、コミュニケーションの場として見事なまでの復活を遂げ、ロジスティクスにおける



世界有数の見本市としての地位を再確認した。また、デジタル化、気候保護、グローバルサプライチェーン、ロジスティクスに携わる人々に焦点を当てるなど、時代の流れに沿った見本市となっていることも重要な点である。要するに、Transport Logistic は、当社ほかどの企業にとっても見逃せない重要な見本市と言えよう」と総括した。

次回の transport logistic は 2025 年 6 月 2 日から 5 日に開催される予定だ。詳細情報ならびに写真は、専用ホームページ: [www.transportlogistic.de](http://www.transportlogistic.de) まで

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先:

メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: [info@messe-muenchen.jp](mailto:info@messe-muenchen.jp)

URL: [www.messe-muenchen.jp](http://www.messe-muenchen.jp) (日本語) [www.messe-muenchen.de](http://www.messe-muenchen.de) (英語 / ドイツ語)